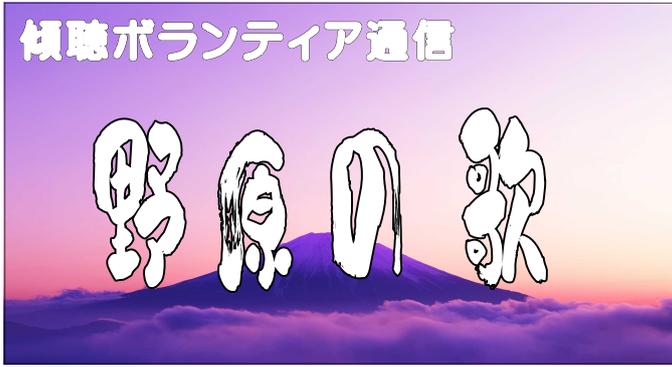


傾聴ボランティア通信



新しい年になりました。

厳しい寒波、豪雪、そして収まることのない新型コロナウイルスの感染状況。本当に厳しい年の始まりです。会員の皆様、お元気でお過ごしでしょうか。どのような思いで新年を迎えられたでしょうか。

2回目の緊急事態宣言が11都道府県に出されました。
(1月13日時点)

長野県の状態も大変厳しく、警戒レベル5、警戒レベル4の地域が多くなっています。

長野県の医療状態も逼迫しており、「医療非常事態宣言」が1月14日に出されました。

私たちにできることは、感染を広げないことにつきます。

「僕を含めた元気な無症状者が感染を広げ、その感染の連鎖が、誰かの大切な命を奪ってしまう。そのことを考えてどうか慎重な行動をしてください。」(人気アイドルグループ Kis-My-Ft2 メンバーの発言。自身が感染して療養していた〇〇君のYouTube メッセージ)

コロナ終息後の生活はこんな風に…コンサートに行こう 温泉に行こう フレンチレストランでディナーを
その時はこんな装いで 孫達に会いに行こう 待っていてくれるあの方の傾聴には真っ先に行こう…

その日が来ることを信じて、この事態をみんなで乗り越えましょう。



昨年12月、新型コロナウイルス感染下での傾聴活動についてのアンケートをさせていただきました。ほぼ全部のグループ、個人の方から回答をいただきました。ご協力ありがとうございました。

まとめができましたので報告いたします。報告は3ページにわたります。

○別紙(表裏) 長野県傾聴ボランティア連絡協議会 アンケート結果 その1

○本紙裏面 長野県傾聴ボランティア連絡協議会 アンケート結果 その2

いずれも2020年12月15日時点でのまとめとなります。その後、状況が変わっているグループもあると思いますが、ご了承ください。

会員の皆様の貴重な活動の工夫と、当協議会への要望、意見をいただきました。参考にさせていただければ幸いです。当協議会への要望については、お返事できるものはアンケート結果の中で記載してあります。状況が悪化し、今後の見通しが難しい中でも、皆様の傾聴への思いには頭が下がります。

当協議会は、対面での役員会は実施できない状態ですが、今後、会員同士のつながりを確認できるような形で、会報「野原の歌」を編集・発行したいと考えています。

2021年度の総会については現時点では実施・中止などの判断ができません。追ってお知らせします。

会報「野原の歌」 寄稿の依頼

今回のアンケートの中でも要望のあった「傾聴の実践例」を寄稿をお願いします。

各ブロック 1名~2名 (全ブロック合計6名程度)

後日、ブロック代表より依頼のお願いをします。依頼された方はどうぞ快くお引き受けください。

また、ブロック代表からの依頼とは別に自由に寄稿して下さる方も大歓迎です。

○ 寄稿内容

忘れられないあの時の傾聴 私の大切なあの傾聴の時間 など

題名は自由 400字程度

○ 送付先 広報担当 弓削淑子 郵送 FAX メール いずれも可

○ 締め切り 2021年2月末日

○ 掲載会報 21号 22号

寄稿お待ちしております

長野県傾聴ボランティア連絡協議会
代表 長谷川 昭 TEL FAX 0264-48-2133
携帯 09043981187
mail mr.kaeru77@ot.kiso.ne.jp
☎ 397-0201 木曾郡王滝村 4100-13



会報担当 弓削淑子
TEL FAX 0266-74-1122
mail yugetora@po30.lcv.ne.jp
☎ 391-0115 諏訪郡原山17217-2199

2) 直面する課題・困りごと・意見など

課題	困りごと	工夫していること	意見
			※今回のアンケートでの回答の中からピックアップした工夫・意見を中心に、県連絡協議会の考えも加えて記載します。
①	傾聴活動ができない状況の中、意欲などが少なくなる。モチベーションの維持をどうするか。		今の生活の中で、出会う人・高齢者と傾聴的に関わり、寄り添うことを考えて行動しよう。
②	定例会が実施できない中での会員間のコミュニケーションをどうとるか。退会した会員もいる。	学習会・勉強会をしよう。 ・月刊誌(日本傾聴ボランティア協会編)などを資料とする学び直し ・ロールプレイングをする。 (ソーシャルディスタンスを充分にとる)	
③	定例会をどう持つか。	・自由な語り合い ピアサポートなど。 ・継続している個人傾聴の様子の共有。	
④	新規入会者への対応をどうするか。		定例会を実施できるならば、参加を呼びかけ、話し合い・勉強会などを工夫する。新会員と従来からの会員の温かい人間関係を築く努力をする。
⑤	感染対策の工夫はどのようにするか。		一般的な対策を徹する。必ず換気をすること。無症状でも感染していることを考えて行動する。個人宅傾聴が安全と考えないこと。 利用者さんはデイケアなどに通所している場合がある。利用者さんを通してのデイケアへの感染・デイケアからの感染の可能性を認識しておくこと。
⑥	活動記録の活用、ケアマネ・社協への報告はどうしているか。		コロナ禍だけでなく、通常の傾聴活動下でも言えること。 近隣のグループと積極的に情報交換する。

3) 長野県連絡協議会への要望・期待・提案

要望・期待・提案	県連絡協議会の考え	方向性
オンライン傾聴・オンライン会議の情報や可能性。	オンライン傾聴は、施設の厳しい感染状況・感染予防・スタッフの負担などを考えると実現の方向は厳しいと思います。 オンライン傾聴は、対象の高齢者の実態から考えると、従来の対面傾聴同様のふれ合いが得られるかは不明です。 対面傾聴ができる日を待つしかないのではないのでしょうか。	
ビデオ教材の購入と活用。	日本傾聴ボランティア協会のビデオ教材は出版されていません。ユーキャンなどの通信教材は、受講した場合につきDVDの教材がありますが、傾聴についての理念・方法が異なっている場合がかなりあるので確認が必要です。	
コロナ終息後を前提として、連絡協議会主催で基礎講座・スキルアップ講座・講演会・勉強会を開催してほしい。	基礎講座・勉強会など小規模での開催について 感染状況を確認し感染が下火になっていけば、感染対策を徹底し、小規模で開催することは可能です。地域の感染状況を踏まえて研修部にご相談ください。	
会報「野原の歌」掲載内容についての要望 ・傾聴活動の実践例を載せてほしい。 ・会員減少・意欲低下を防ぐためのアドバイスを載せてほしい。	傾聴の実践例については加入グループの会員の投稿を計画します。 全国的な事例については日本傾聴ボランティア協会の月刊誌をご覧ください。 「自分にとっての傾聴ボランティアとは～熱い思いの寄稿集～①②」(2020.5 月発行)も参考になります。 アドバイス等について 今回のアンケート結果にヒントとなることもあります。参考にしてください。 日本傾聴ボランティア協会の月刊誌にも今日的状況の中でのアドバイスなど掲載されています。	
県協議会の基礎講座テキストを使用したい。	基礎講座テキストは基礎講座の受講者向けのテキストなので、一般には提供していません。感染状況が落ち着いたら、ぜひ基礎講座を計画なさってください。	
コロナ禍での県連絡協議会は、この期間休止したらどうか。 アンケート方法も疑問。	「長野県傾聴ボランティア連絡協議会設立の趣旨」に従って活動しています。 今回のアンケートでは各グループの現状での活動の状況をお知らせすることができたと考えています。 また、協議会に対する要望と期待を多くいただきました。今後も会員の皆様の声に応えられるよう努力します。	